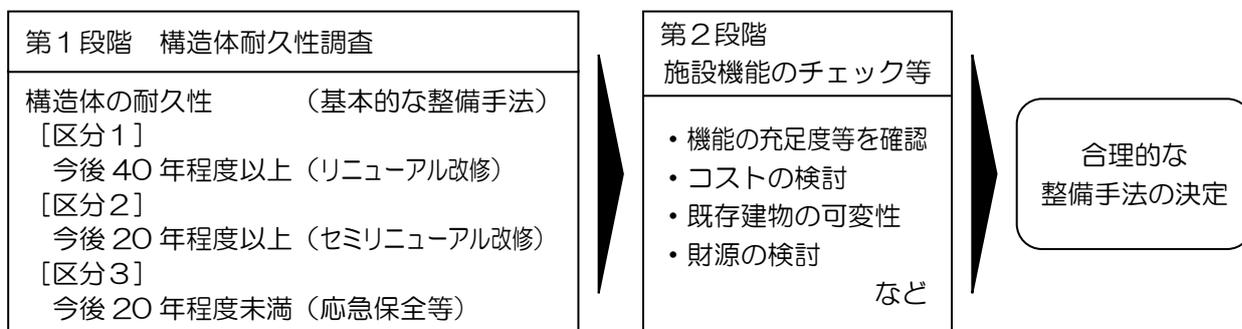


平成 26 年度 構造体耐久性調査について（概要）

1. 目的

施設の長寿命化に向けて、この先どのくらいの期間、建物を使用することができるか構造体の劣化の程度からその耐久性を調査しました。

2. 長寿命化に向けての検討の流れ



3. 調査対象施設

概ね築 40 年以上のものから歴史的建造物や建替え事業に着手したものなどを除き、調査を行っています。

今回は、平成 26 年度に構造体耐久性調査を行った 67 棟と建物の強度確認調査を行った 9 棟の調査結果について公表します。

4. 構造体耐久性調査結果

- ・ 今後 40 年程度以上 31 棟
- ・ 今後 20 年程度以上 30 棟
- ・ 今後 20 年程度未満 0 棟
- ・ 今後、建物強度確認調査を行ったうえ耐久性の
評価を行うもの 6 棟

計 67 棟

5. これまでに行った調査の全件数のまとめ

(単位：棟)

区 分	今後期待できる建物の使用期間			今後、建物強度 確認調査が 必要なもの	改築・用途 廃止予定の もの	合計
	40 年程度 以上	20 年程度 以上	20 年程度 未満			
学 校	194	552	2	0	0	748
住 宅	37	108	0	0	1	146
一般施設	62	61	0	6	1	130
計	293	721	2	6	2	1024

今回の調査結果により構造体の面からは、一般的にいわれている耐用年数 60～65 年程度よりも長寿命化が期待できるものがあることがわかりました。

今後、建物の機能の充足度、長寿命化等にかかるコストなどを検討し、施設整備を適切に進めていきます。

6. 建物強度確認調査結果

構造体耐久性調査において、耐震性能不足の恐れがあるとされたものを対象とした建物強度確認調査（耐震診断）を平成 26 年度に 9 棟実施し、構造体の耐久性を判定しました。そのうち、耐震診断による評価でⅡ－1 となった 5 棟は、すみやかに耐震対策を行います。

【調査結果集計表】

施設名	棟	耐震診断による評価	今後期待できる建物の使用期間
西味鏡小学校	体育館棟	Ⅱ－1	20 年程度以上
広路小学校	体育館	Ⅱ－1	20 年程度以上
浦里小学校	体育館棟	I	20 年程度以上
山根小学校	北校舎棟（東）	I	20 年程度以上
相生小学校	中校舎棟	I	40 年程度以上
しまだ小学校	南校舎棟	Ⅱ－1	20 年程度以上
東陵中学校	北校舎棟（東）	Ⅱ－1	20 年程度以上
工業高等学校	中校舎棟（北西）	I	20 年程度以上
若宮商業高等学校	体育館・格技場棟	Ⅱ－1	20 年程度以上

評価 I : 概ね現行耐震基準程度の性能を有しており、原則として耐震対策の必要がない。

評価 Ⅱ－1 : 現行耐震基準程度の性能を満たさず、原則として耐震対策の検討の必要がある。

評価 Ⅱ－2 : 現行耐震基準程度の性能を満たさず優先的に耐震対策の検討の必要がある。